

新	旧	備 考
<p>29.37 <u>ホルモン、プロスタグランジン、トロンボキサン及びロイコトリエン（天然のもの及びこれと同一の構造を有する合成のものに限る。）並びにこれらの誘導体及び構造類似物（主としてホルモンとして使用するもので、変性ポリペプチドを含む。）</u> <u>- ポリペプチドホルモン、たんぱく質ホルモン及び糖たんぱく質ホルモン並びにこれらの誘導体及び構造類似物</u> 2937.11 <u>- - ソマトトロピン並びにその誘導体及び構造類似物</u> 2937.12 <u>- - インスリン及びその塩</u> 2937.19 <u>- - その他のもの</u> <u>- ステロイドホルモン並びにその誘導体及び構造類似物</u> 2937.21 <u>- - コルチゾン、ヒドロコルチゾン、プレドニゾン（デヒドロコルチゾン）及びプレドニゾロン（デヒドロヒドロコルチゾン）</u> 2937.22 <u>- - コルチコステロイドホルモンのハロゲン化誘導体</u> 2937.23 <u>- - エストロゲン及びプロゲストゲン</u> 2937.29 <u>- - その他のもの</u> <u>- カテコールアミンホルモン並びにその誘導体及び構造類似物</u> 2937.31 <u>- - エピネフリン</u> 2937.39 <u>- - その他のもの</u> 2937.40 <u>- アミノ酸誘導体</u> 2937.50 <u>- プロスタグランジン、トロンボキサン及びロイコトリエン並びにこれらの誘導体及び構造類似物</u> 2937.90 <u>- その他のもの</u></p> <p><u>この項には、次の物品を含む。</u> （ ） <u>天然のホルモン：人又は動物の生きている組織で生成される活性物質で、直接特定の器官に作用したり、二次的若しくは三次的なホルモン系の合成又は分泌をコントロールすることによつて、ごく少量で特定の器官の機能を抑制又は刺激することができる。ホルモンの基本的で明確な特性のひとつは、ホルモンが、ある反応を活性化するため、立体特異的な分子受容体に結合することである。これらの物質の分泌は、通常、内分泌腺よりなされ、交感神経系又は副交感神経系に支配される。ホルモンはまた、内・外分泌腺又はその他の細胞組織中においても生成され、血液、リンパ液又はその他の体液によつて運ばれる。血液による運搬は、必ずしもホルモンの反応に必要ではなく、間質液へのホルモンの放出後、隣接細胞に存在する受容体に結合することによつて反応が起る場合（傍分泌制御）やそのホルモンを放出した細胞に存在する受容体に結合して起る場合（自己分泌制御）がある。</u></p> <p style="text-align: right;">（次葉へ）</p>	<p>29.37 <u>ホルモン（天然のもの及びこれと同一の構造を有する合成のものに限る。）及びその誘導体で主としてホルモンとして使用するもの並びにその他のステロイドで主としてホルモンとして使用するもの</u> 2937.10 <u>- 脳下垂体前葉ホルモンその他これに類するホルモン及びこれらの誘導体</u> <u>- 副腎皮質ホルモン及びその誘導体</u> 2937.21 <u>- - コルチゾン、ヒドロコルチゾン、プレドニゾン（デヒドロコルチゾン）及びプレドニゾロン（デヒドロヒドロコルチゾン）</u> 2937.22 <u>- - 副腎皮質ホルモンのハロゲン化誘導体</u> 2937.29 <u>- - その他のもの</u> <u>- その他のホルモン及びその誘導体並びにその他のステロイドで主としてホルモンとして使用するもの</u> 2937.91 <u>- - インスリン及びその塩</u> 2937.92 <u>- - エストロゲン及びプロゲストゲン</u> 2937.99 <u>- - その他のもの</u></p> <p><u>天然ホルモンは、ごく少量で特定の器官の機能を抑制又は刺激する活性物質である。通常、内分泌腺による分泌は交感系及び副交感系により支配される。ホルモンは内分泌腺、開口腺及びその他の細胞組織中でつくられ、人又は動物体内の血液、リンパ液、その他の液体により運ばれる。この項には、天然ホルモンと同一の構造をもつ合成ホルモン（バイオテクノロジーにより生産されたものを含む。）を含む。</u> <u>天然又は合成のホルモンの誘導体（ハロゲン化誘導体、環式アセタール、塩、エステル及びエステルの塩等）も、また、主としてホルモンとして使用されるものに限る。この項に含む。ただし、当該誘導体がステロイドである場合には、その基本であるゴナン構造に変化があつてはならない。すなわち、環は必ずしも完全に飽和されている必要はないが、環の収縮又は炭素原子以外の原子（ヘテロ原子）による置換が行われていてはならない。</u></p> <p style="text-align: right;">（次葉へ）</p>	

新	旧	備 考
<p style="text-align: center;">(前葉より)</p> <p>29.37 () <u>プロスタグランジン、トロンボキサン及びロイコトリエンで天然のもの：身体より分泌され、局所ホルモンのように作用する。プロスタグランジンはホルモン又はホルモン様物質の一種で、それ自身が特定の細胞受容体に結合することによつて作用する（又は局所の細胞環境において作用する）組織中で生成され、多くの組織で細胞活動の調節剤として作用する。これら3種類の関連する物質のグループ（アラキドン酸の誘導体）は、「ホルモン様作用」を有すると言われている。</u></p> <p>() <u>ホルモン、プロスタグランジン、トロンボキサン及びロイコトリエンで合成によつて得られたもの（バイオテクノロジーによつて得られたものを含む。）：天然の物質と同一の化学構造を有するものである。</u></p> <p>() <u>ホルモン、プロスタグランジン、トロンボキサン及びロイコトリエンの誘導体で天然のもの又は合成によつて得られたもの：塩、ハロゲン化誘導体、環式アセタール、エステル等（誘導体の混合物（例えば、ハロゲン化誘導体のエステル）を含み、主としてホルモンとして使用するものに限る。）</u></p> <p>() <u>ホルモン、プロスタグランジン、トロンボキサン及びロイコトリエンの構造類似物：「構造類似物」とは、母体化合物と近似な構造関係を持つが、誘導体とは認められない化合物である。これには、天然の化合物に構造的に類似するが、構造内の一原子以上を他の原子で置き換えた化合物を含む。</u></p> <p>(a) <u>ポリペプチドホルモンの構造類似物：天然のポリペプチド鎖中の特定のアミノ酸を付加、脱離、置換又は交換して形成される。ソマトレム（成長ホルモンであるソマトトロピンの構造類似物）（INN）は天然のソマトトロピン分子の末端にアミノ酸を付加して得られる。オルニプレッシン（ornipressin）（INN）（天然のアルギプレッシン（argipressin）（INN）及びライプレッシン（lypressin）（INN）の構造類似物）はアルギプレッシン又はライプレッシン分子中の中間部分のアミノ酸を置換することによつて得られる。合成の性腺刺激ホルモン放出ホルモン（ゴナドレリンの構造類似物）であるブセレリン（buserelin）（INN）、ナファレリン（nafarelin）（INN）、フェルチレリン（fertirelin）（INN）、ロイプロレリン（leuprorelin）（INN）及びルトレリン（lutrelin）（INN）は、天然のゴナドレリン（gonadorelin）のポリペプチド鎖の特定のアミノ酸を置換することによつて得られる。コルチコトロピン（INN）の構造類似物であるギラクチド（giractide）（INN）は、天然のコルチコトロピンと初めの18個のアミノ酸が同一であるが、第一</u></p> <p style="text-align: center;">(次葉へ)</p>	<p style="text-align: center;">(前葉より)</p> <p>29.37 <u>この項にはさらに主としてホルモンとし使用されることを条件として、上記に掲げた基本構造を有する他のステロイドを含む。</u></p> <p><u>この項には、ホルモンの天然混合物、ホルモン誘導体の天然混合物又はステロイドで主としてホルモンとして使用するものの天然混合物(例えば、副腎皮質ホルモンの天然混合物)を含むが、これらのものを人為的に混合したもの又は調製品を含まない。この項の物品を化学構造に従い整理した表を以下に示すが、この表は完全なものではない。</u></p> <p style="text-align: center;">(次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>(前葉より)</p> <p>29.37 番目のアミノ酸が置換されている。サララシン (saralasin) (INN) (アンギオテンシン 分子中、アミノ酸が3つ異なるもの。)は、アンギオテンシン に拮抗的作用を示すが、その構造類似物と考えるべきである(サララシンは降圧剤であり、アンギオテンシン は昇圧剤である。)。</p> <p>(b) ステロイドホルモンの構造類似物：ゴナン構造を有していなくてもよいが、環の短縮若しくは拡張又は環の原子が他の原子(ヘテロ原子)によって置換されていてもよい。ドモプレドネート(domoprednate) (INN) 及びオキサンドロロン(oxandrolone)はこの種の構造類似物の代表的な例である。この種の構造類似物及び誘導体のグループ(上記ゴナン構造を有するものに限る。)は、ホルモン阻害剤及びホルモン拮抗剤(抗ホルモン)として使用される物質を多数含む(例えば、サイプロテロン(cyproterone) (INN)(抗アンドロゲン)、ダナゾール(danazol) (INN)(抗性腺刺激ホルモン)、エポスタン(epostane) (INN)(プロゲステロンの生成を阻害する。))。)</p> <p>(c) プロスタグランジン、トロンボキサン及びロイコトリエンの構造類似物：鎖状構造中の原子が置換され又は環が形成若しくは脱離されていてもよい。チルスプロスト(tilsuprost) (INN)(プロスタグランジンの構造類似物)においては、酸素及び炭素原子が窒素及び硫黄原子で置換され、環が1つ閉じている。</p> <p>() ホルモンの天然の混合物若しくはその誘導体又はホルモン作用を持つと認められるステロイドの天然の混合物(例えば、コルチコステロイドホルモンの天然の混合物又は結合エストロゲンの天然の混合物)。ただし、人為的な混合物又は調製品はこの項に含まれない(通常、30.03 又は30.04)。</p> <p>ホルモン放出因子(ホルモン刺激因子)、ホルモン阻害剤及びホルモン拮抗剤(抗ホルモン)もこの項に含まれる(この類の注8参照)。この項には、また、ホルモン(天然のもの又はこれと同一の構造を有する合成のもの)を母体化合物とし、かつ、ホルモンと同様の作用機序で作用する物品に限り、ホルモンの誘導体及び構造類似物を含む。</p> <p>この項の物品をその化学構造に従って整理した表を以下に示すが、この表は例示であつて限定的なものではない。</p> <p>(次葉へ)</p>	<p>(前葉より)</p> <p>29.37</p> <p>(次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>(前葉より)</p> <p>29.37 項に分類される物品の一覧表 ()</p> <p>(A) ポリペプチドホルモン、たんぱく質ホルモン及び糖たんぱく質ホルモン並びにこれらの誘導体及び構造類似物</p> <p>この項には、次の物品を含む。</p> <p>(1) ソマトトロピン並びにその誘導体及び構造類似物：ソマトトロピン（成長ホルモン、GH、STH（ソマトトロピンホルモン））は、水溶性のたんぱく質で、組織の成長を促進し、また、他の相のたんぱく質代謝作用の調節に関与する。脳下垂体前葉のソマトトロピン細胞から分泌され、その分泌は、放出因子（成長ホルモン放出ホルモン）及び阻害因子（ソマトスタチン）によつて調節される。ヒト成長ホルモン（hGH）は、191 のアミノ酸残基よりなる1本のポリペプチド鎖で、ほとんど独占的に組み替えDNA技術によつて製造される。このグループには、ソマトレム（somatrem）（INN）（メチオニルhGH）、アセチル化hGH、デサミド（desamido）hGH及びソメノボル（somenopor）（INN）のような誘導体及び構造類似物を含む。</p> <p>(2) インスリン及びその塩：インスリンは51のアミノ酸残基よりなるポリペプチドで、多くの動物のすい臓のランゲルハンス島で生成される。ヒトインスリンは、すい臓からの抽出、牛若しくは豚のインスリンの修飾又はバイオテクノロジーによつて得られる（微生物又は酵母による組み替えヒトインスリンの製造を含む。）。インスリンは、循環しているグルコース及びその他の栄養素の細胞への取り込み及びこれらをグリコーゲン及び脂肪として貯蔵する場合の因子である。純粋なインスリンは、白色、非吸湿性の不定形の粉末又は輝きのある結晶で、水に可溶である。糖尿病治療薬として使用される。インスリンの塩にはインスリン塩酸塩を含む。</p> <p>(3) コルチコトロピン（INN）（ACTH（adrenocorticotrophic hormone）^{じん}）、副腎皮質刺激ホルモン）：水溶性のポリペプチドで、副腎皮質ステロイドの生成を促進する。ギラクチド（giractide）（INN）はコルチコトロピンの構造類似物である。</p> <p>(4) 黄体刺激ホルモン（LTH、ガラクチン、ガラクトゲンホルモン、ルテオトロフィン、マンモトロフィン、プロラクチン）：結晶性のポリペプチドで乳汁分泌を促し、黄体の活動に影響を与える。</p> <p>() 世界保健機関（WHO）の公表したInternational Nonproprietary Names又はInternational Nonproprietary Names（Modified）の品名がある場合には、それを最初に掲げ、それぞれ（INN）又は（INN^M）が記されている。</p> <p>(次葉へ)</p>	<p>(前葉より)</p> <p>29.37 項に分類される物品の一覧表 (*)</p> <p>() フェノール誘導体</p> <p>(A) 甲状腺ホルモン</p> <p>(1) レボチロキシ（INN^M）及びDL-チロキシ（2-アミノ-3-(4-(4-ヒドロキシ-3,5-ジヨードフェノキシ)-3,5-ジヨードフェニル)-プロピオン酸又は3,5,3',5'-テトラヨードチロニン）：チロキシンは、甲状腺から抽出されるか又は合成によつて得られる芳香族アミノ酸の一種で、白色又は淡黄色の結晶であり、水及び通常の溶媒に不溶である。基礎代謝率及び酸素消費量を増加し、交感系に作用し、たんぱく質及び脂肪の作用を制御し、生物体のような素欠乏を補う。甲状腺腫及びレチン病の治療に使用する。L-異性体は最も活性が強い。そのナトリウム塩は、白色の粉末で、水にわずかに溶け、同様の作用を有する。</p> <p>(2) リオチロニン（INN）及びDL-3,5,3'-トリヨードチロニン（2-アミノ-3-(4-(4-ヒドロキシ-3-ヨードフェノキシ)-3,5-ジヨ-フェニル)（プロピオン酸）：トリヨードチロニンは、甲状腺から抽出される。その生理的作用はチロキシより大きい。</p> <p>(B) 副腎髄質ホルモン</p> <p>これらのホルモンは、副腎の髄質中に存在する。</p> <p>(1) エピネフリン（INN）及びラセピネフリン（INN）（(+) - アドレナリン、1-(3,4-ジヒドロキシフェニル)-2-メチルアミノエタノール）：アドレナリンは、淡褐色又はほとんど白色の結晶性粉末で、光により変化を受けやすく、水及び有機溶媒にわずかに溶ける。馬の副腎から抽出されることもあるが、大部分は合成によつて製造される。血圧上昇性ホルモンの一種で、交換神経系を刺激し、血球の数及び血液中の糖分を増加させる。また、強い血管収縮作用を有する。</p> <p>(2) ノルエピネフリン（INN）（レバルテレノール）、（(-) - ノルアドレナリン、(-) - 2-アミノ-1-(3,4-ジヒドロキシフェニル)エタノール）：白色の結晶で水に可溶である。その生理的作用は、アドレナリンとエフェドリンとの中間である。</p> <p>(*) 世界保健機関（WHO）の公表したInternational Nonproprietary Names又はInternational Nonproprietary Names（Modified）の品名がある場合には、それを最初に掲げ、それぞれ（INN）又は（INN^M）が記されている。</p> <p>(次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>(前葉より)</p> <p>29.37 (5) チロトロフィン(INN)(チロトロフィンホルモン、TSH(甲状腺刺激ホルモン))：糖たんぱく質で、血液に対する甲状腺の作用及びよう素の移動に關する。成長及び分泌に影響する。</p> <p>(6) 濾胞刺激ホルモン(FSH)：水溶性の糖たんぱく質で、生殖機能を亢進する。</p> <p>(7) 黄体形成ホルモン(LH、ICSH(間質細胞刺激ホルモン)、ルテノステロイド)：水溶性の糖たんぱく質で、ステロイドの分泌、排卵及び間質細胞の発生を刺激することにより、生殖機能を亢進する。</p> <p>(8) 絨毛性性腺刺激ホルモン(INN)(hCG(ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン))：胎盤で生成される糖たんぱく質で、妊娠した雌馬の尿より抽出される。白色結晶で水溶液中では比較的不安定である。濾胞の成熟を促す。</p> <p>(9) 血清性性腺刺激ホルモン(INN)(ウマ絨毛性性腺刺激ホルモン(eCG))：性腺刺激作用のある糖たんぱく質で、妊娠した雌馬の胎盤及び子宮内膜で生成される。もともとは、妊馬血清性性腺刺激ホルモンと呼ばれた。</p> <p>(10) オキシトシン(INN)(アルファ-ヒポファミン)：水溶性のポリペプチドで、主な作用は、子宮収縮及び乳房からの乳汁射出作用である。構造類似物であるカルベトシン(carbetocin)(INN)、デモキシトシン(demoxycytocin)(INN)等も含まれる。</p> <p>(11) バソプレッシン(アルギプレッシン(INN)及びライプレッシン(INN)並びにこれらの誘導体及び構造類似物)：血圧を上昇させ、腎臓による水分の貯留を促進する作用を有するポリペプチドである。ここには、ポリペプチドの構造類似物も含む(例えば、テルリプレッシン(terlipressin)(INN)、デスマプレッシン(desmopressin)(INN)等)。</p> <p>(12) カルシトニン(INN)(TCA(チロカルシトニン))：血液カルシウム及び血液リン酸降下作用を持つポリペプチド。</p> <p>(13) グルカゴン(INN)(HGF(高血糖-グリコーゲン分解因子))：ポリペプチドで、血中グルコース濃度を上昇する作用を持つ。</p> <p>(14) チロリペリン(TRF、TRH)：チロトロフィンの分泌を刺激するポリペプチドである。</p> <p>(次葉へ)</p>	<p>(前葉より)</p> <p>() ポリペプチド及びたんぱく質</p> <p>(A) 脳下垂体前葉ホルモン及び類似のホルモン</p> <p>(1) 生長ホルモン(GH、STH(ソマトトロピンホルモン)、ソマトトロピン)：水溶性のたんぱく質で、組織の生長を促進し、また、他の相のたんぱく質代謝作用の調節に關する。</p> <p>(2) 副腎皮質刺激ホルモン(コルチコトロピン(INN))(ACTH(アドレノコルチコトロフィンホルモン)、アドレノコルチコトロフィン)：水溶性のポリペプチドで、副腎皮質ステロイドの生成が増加するように刺激する。</p> <p>(3) 黄体ホルモン(LTH、ガラクチン、ガラクトゲンホルモン、ルテオトロフィンマントロフィン、プロラクチン)：結晶性のポリペプチドで、乳汁分泌を高め、黄体の活動に影響を与える。</p> <p>(4) チロトロフィン(INN)(チロトロフィンホルモン、TSH(甲状腺刺激ホルモン))：糖たんぱく質で、血液に対する甲状腺の作用及び甲状腺のよう素移動に關する。</p> <p>(5) 濾胞刺激ホルモン(FSH)水溶性の糖たんぱく質で、性機能を活発にする。</p> <p>(6) 黄体形成ホルモン(LH、ICSH(間質細胞刺激ホルモン)、ルテノステロイド)：水溶性の糖たんぱく質で性機能を刺激する。</p> <p>(7) 絨毛膜性生殖腺刺激ホルモン(Chorionic gonadotrophin(INN)(hCG(人絨毛膜性生殖腺刺激ホルモン))：胎盤中で生成される糖たんぱく質で妊娠した雌馬の尿から抽出されるが、脳下垂体前葉中にも存在する。白色の結晶で、水溶液は比較的不安定である。濾胞の成熟を刺激する。</p> <p>(8) 血清性刺激ホルモン(serum gonadotrophin(INN))(PMSG(pregnantmare serum gonadotrophin))：生殖腺刺激作用のあるたんぱく質で、妊娠した雌馬の胎盤又は子宮内膜に生成する。</p> <p>(B) 脳下垂体後葉ホルモン</p> <p>(1) 子宮収縮ホルモン(oxytocin(INN))(アルファ-ヒポファミン)：水溶性ポリペプチドで、おもな作用は子宮収縮作用である。</p> <p>(2) バソプレッシン(ベータ-ヒポファミン)：ポリペプチドで血圧上昇作用及び腎臓の保水力増加作用がある。</p> <p>(次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>(前葉より)</p> <p>29.37 (15) <u>ゴナドレリン (gonadorelin) (INN) (ゴナドリペリン、性腺刺激ホルモン放出ホルモン、LRF、GnRH) : このポリペプチドは、脳下垂体における濾胞刺激ホルモン及び黄体形成ホルモンの分泌を促進する。ここには、ポリペプチドの構造類似物を含む (例えば、ブセリリン (buserilin) (INN)、ゴセリリン (goserilin) (INN)、フェルチレリン (fertirelin) (INN)、セルモレリン (sermorelin) (INN) 等)。</u></p> <p>(16) <u>ソマトスタチン (INN) (SS、SRIF、SRIF) : このポリペプチドは脳下垂体からの成長ホルモン及びTSHの放出を阻害し、また、神経性の作用も有する。</u></p> <p>(17) <u>心房性ナトリウム利尿ホルモン (ANH、ANF) : 心房から分泌されるポリペプチドホルモンである。血液量の増加によって心房が拡張した場合に、ANHの分泌が刺激される。ANHは、塩及び水分の排泄を促進し、続いて血圧を降下させる。</u></p> <p>(18) <u>エンドセリン : 血管系の内皮細胞で分泌されるポリペプチドホルモンである。エンドセリンは血流中に放出されるが、傍分泌型で局所的に作用し、血管平滑筋を収縮し、血圧を上昇する。</u></p> <p>(19) <u>インヒピン及びアクチピン : 性腺組織に存在するホルモンである。</u> (B) <u>ステロイドホルモン並びにその誘導体及び構造類似物</u></p> <p>(1) <u>コルチコステロイドホルモン : 副腎の皮質部で分泌され、身体の代謝活動において重要な役割を果たしている。副腎皮質ホルモン又はコルチコイドとしても知られ、その生理的作用によつて、通常次の2つのグループに分けられる。</u> () <u>グルココルチコイド : たんぱく質及び炭水化物の代謝を調節する。</u> () <u>鉱質コルチコイド : ナトリウム及び水分の貯留を引き起こし、カリウムの排泄を促進する。鉱質コルチコイドの性質は、腎不全及びアジソン病の治療に利用される。これらには、次のコルチコステロイドホルモン並びにその誘導体及び構造類似物を含む。</u></p> <p>(a) <u>コルチゾン (INN) : グルココルチコイドの一種で、たんぱく質及び炭水化物の代謝を調節し、抗炎症作用を有する。</u></p> <p>(b) <u>ヒドロコルチゾン (INN) (コルチゾール) : コルチゾンと同様の作用を有するグルココルチコイドである。</u></p> <p>(c) <u>プレドニゾン (INN) (デヒドロコルチゾン) : グルココルチコイドで、コルチゾンの誘導体である。</u> (次葉へ)</p>	<p>(前葉より)</p> <p>29.37 (C) <u>甲状腺ホルモン</u> (1) <u>副甲状腺ホルモン : ポリペプチドであり、カルシウム調節作用がある。</u> (2) <u>カルシトニン (INN)、(TCA (チロカルシトニン)) : 低カルシウム及び低リン酸塩血症用のポリペプチド</u></p> <p>(D) <u>すい臓ホルモン</u> (1) <u>インスリン : インスリンは、多くの動物のすい臓のランゲルハンス島に存在するポリペプチドであり、すい臓からの抽出又は合成 (バイオテクノロジー) によるものを含む。例えば、グルコースシロップ又は砂糖の発酵) によって製造される。白色で非吸湿性の無定形粉末又は光沢のある結晶で水に可溶である。低血糖因子として糖尿病の治療に使用する。</u> (2) <u>グルカゴン (INN) (HGF (高血糖 - グリコゲン分解因子)) : ポリペプチドで血液中のグルコースの濃度を増加させる性質がある。</u> () <u>ステロイドで主としてホルモン作用を使用するもの</u> これらには、次に掲げる種類の天然ホルモンを含む。</p> <p>(A) <u>副腎皮質ホルモン : 副腎中皮質に存在する。</u></p> <p>(B) <u>エストロゲン : 卵巣、精巣、副腎、胎盤その他のステロイド生成組織が生成する女性ホルモンである。</u></p> <p>(C) <u>プロゲステロン (INN) : 排卵後の黄体 (雌性生殖腺) 中に、また、副腎、胎盤及び精巣中にも存在する。</u></p> <p>(D) <u>アントロゲン : 雌性の性ホルモンで、精巣、血液及び尿中に存在する。</u> ほとんどすべての副腎コルチコステロイドは、ナトリウム及び水分を体中に保持させ、カリウムの排せつを促進する作用がある。この作用は腎臓疾患及びアジソン氏病の治療に利用される。ある種のコルチコステロイド (例えば、ヒドロコルチゾン) は、糖質コルチコイドとして分類され、体内でたんぱく質及び炭水化物の代謝作用の調節を行い、また、間充組織 (mesenchyme) の作用を抑制することにより局所的な抗炎症効果も示す。ある種の誘導体は、實際上、皮質ホルモン効果をおさえるように化学的に変性されており、その抗炎症効果がもたら利用されるが、この効果のホルモン効果の一つであると認められるので、この項に属する。他のものは、デソキシコルトンのようにかなり強いナトリウム保持作用及びカリウム排せつ作用をもつので、無機質コルチコイド (mineralocorticoids) と呼ばれる。</p> <p>(次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>(前葉より)</p> <p>29.37 (d) <u>プレドニゾロン (INN) (デヒドロコルチゾン) : グルココルチコイドで、ヒドロコルチゾンの誘導体である。</u> (e) <u>アルドステロン (INN) : 鉱質コルチコイド</u> (f) <u>コルトドキソン (cortodoxone)</u> 誘導体には、その抗炎症効果を利用するために、その皮質ホルモン効果を抑制するような修飾がされているものがあるが、これもホルモン効果を有しているとみなされる。これらは主に、コルチゾン、ヒドロコルチゾン、プレドニゾン及びプレドニゾロンの誘導体であり、抗炎症剤及び抗リュウマチ剤として使用される。</p> <p>(2) <u>コルチコステロイドホルモンのハロゲン化誘導体 : 通常、ゴナン構造の6位又は9位の水素原子が、塩素又はフッ素原子で置換されたステロイド (例えば、デキサメタゾン (INN)) であり、母体化合物よりもグルココルチコイド作用及び抗炎症作用が強い。これらの誘導体は、エステル、アセトニド (例えば、フルオシノロンアセトニド (INN)) の形へさらに修飾され、流通することが多い。</u></p> <p>(3) <u>エストロゲン及びプロゲステゲン : 性ホルモンの主要な2つのグループであり、男性及び女性の生殖器より分泌される。合成によっても得られ、プロゲステン及びゲストーゲンと呼ばれることもある。</u> <u>エストロゲン : 卵巣、精巣、副腎、胎盤及びその他のステロイド生成組織で作られる女性ホルモンであり、雌の哺乳類において発情を起こす特徴がある。女性の性徴の亢進に関与し、更年期障害の治療又は避妊薬の調製に用いられる。これらには、次に掲げるエストロゲン並びにその誘導体及び構造類似物を含む。</u> (a) <u>エストロン (INN) : 人の主要なエストロゲン</u> (b) <u>エストラジオール (INN) : 重要な天然のエストロゲン</u> (c) <u>エストリオール (INN) : 天然のエストロゲン</u> (d) <u>エチルエストラジオール (INN) : 重要な合成のエストロゲンで、経口投与でも効果があり、経口避妊薬に主たるエストロゲン成分として使用される。</u> (e) <u>メストラノール (INN) : エチルエストラジオールのエーテル誘導体で、経口避妊薬として使用される。</u> (次葉へ)</p>	<p>(前葉より)</p> <p>29.37 <u>エストロゲンは女性の性徴の発達をつかさどるが、エストロゲンの主な用途は更年期障害の治療及び避妊薬の調製である。</u> <u>プロゲステロンは、妊娠のための子宮の準備及び妊娠の維持のために重要である。また、排卵抑制作用があるため、多くのプロゲステロン剤が避妊薬の成分として使用されている。</u> <u>アンドロゲンは男性の性徴の発達をつかさどる。ある種のアンドロゲンは代謝作用 (すなわち同化作用) に影響を与える。</u> <u>これらの天然に由来するホルモンは、現在合成により得られている。さらに、天然にはまだ見出されていない多くの新しいステロイドが合成され、医薬品として使用されている。しかしながら、化学的にかなり類似していても、化合物の化学構造が若干変化するだけで生理的效果が変化し、しばしば異なった生理機能系に作用するような物質になる場合が多い。このような生体内にその対応物のない合成物の例として、雄性発生作用を減少するが同化作用を高めたもの (この作用のために、これらは同化剤 (anabolic agents) と呼ばれる) (例えば、oxymetholone) がある。</u> <u>主としてそのホルモン作用を利用するステロイドは、ゴナン構造が変性していない場合に限りすべてこの項に含む。</u> (次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>(前葉より)</p> <p>29.37 <u>プロゲストゲン：プロゲステロン様作用を有するステロイドのグループであり、妊娠の開始及び維持に必要である。これらの女性ホルモンは、妊娠に対して子宮を整え、妊娠を維持する。その排卵抑制作用から、多くのプロゲスチンが避妊薬の成分として使用される。ここには、次の物品を含む。</u></p> <p>(a) <u>プロゲステロン（INN）：人の主要なプロゲスチンであり、エストロゲン、アンドロゲン及びコルチコステロイドの生合成過程における中間体である。排卵後の黄体で生成され、副腎、胎盤及び精巣中にも存在する。</u></p> <p>(b) <u>プレグナジオール：天然のプロゲスチンで、プロゲステロンより生理活性はかなり弱い。</u></p> <p>(4) <u>その他のステロイドホルモン</u></p> <p><u>アンドロゲン：上述の物品に含まれない性ホルモンのうち重要なグループであり、主として精巣で生成されるが、卵巣、副腎及び胎盤においても若干生成される。雄性の性徴を亢進し、代謝に関与する（たんぱく質同化作用）。テストステロン（INN）は最も重要なアンドロゲンの一つである。</u></p> <p><u>ここには、合成のステロイドで、ホルモン効果の阻害又は反作用に用いられるものを含む（例えば、抗エストロゲン、抗アンドロゲン及び抗プロゲストゲン（抗プロゲスチン、抗エスタゲン））。ステロイドの抗プロゲスチンはプロゲスチン拮抗剤であり、疾病の治療に多く用いられている。このグループには、例えば、オナプリストン（INN）及びアグレプリストン（INN）を含む。</u></p> <p>(次葉へ)</p>	<p>(前葉より)</p> <p>29.37</p> <p>(次葉へ)</p>	

新		旧		備 考
(前葉より)		(前葉より)		
29.37	<u>これらのステロイドのうち、国際貿易上重要なものは次表のとおりである。その物品の略名をアルファベット順に掲げ、その主なホルモン作用を付記した。複数の品名がある場合には、世界保健機関（WHO）の公表したInternational Nonproprietary Names for pharmaceutical preparations（INN）又はInternational Nonproprietary Names（Modified）（INNМ）により、化学名は、IUPAC 1957のステロイドの命名法によっている。</u>	29.37	<u>これらのステロイドのうち、国際貿易上重要なものは次表のとおりである。本表は、その物品の略名をアルファベット順に掲げ、そのおもなホルモン作用を示した。複数の品名がある場合には、世界保健機関（WHO）の公表したInternational Nonproprietary Names for pharmaceutical preparations（INN）又はInternational Nonproprietary Names（Modified）（INNМ）により、化学名は、IUPAC 1957のステロイドの命名法によっている。</u>	
主としてホルモンとして使用されるステロイドの一覧表		主としてホルモンとして使用されるステロイドの一覧表		
略名	主なホルモン作用	略名	主なホルモン作用	
化学名		化学名		
Adrenosterone androst-4-ene-3,11,17-trione	Androgen	Adrenosterone androst-4-ene-3,11,17-trione	Androgen	
Aldosterone (INN) 11 ,21-dihydroxy-3,20-dioxopregn-4-en-18-al	Corticosteroid	Aldosterone (INN) 11 ,21-dihydroxy-3,20-dioxopregn-4-en-18-al	Corticosteroid	
Allylestrenol (INN) 17 -allyloestr-4-en-17 -ol	Progestogen	Allylestrenol (INN) 17 -allyloestr-4-en-17 -ol	Progestogen	
(No short name) 5 -androstane-3,17-dione	Androgen intermediate	(No short name) 5 -androstane-3,17-dione	Androgen	
Androstanolone (INN) 17 -hydroxy-5 -androstan-3-one	Androgen	Androstanolone (INN) 17 -hydroxy-5 -androstan-3-one	Androgen	
Androstenediols androst-5-ene-3 ,17 -diol androst-5-ene-3 ,17 -diol	Anabolic intermediate	Androstenediols androst-5-ene-3 ,17 -diol androst-5-ene-3 ,17 -diol	Anabolic	
(No short name) androst-4-ene-3,17-dione	Androgen intermediate	(No short name) androst-4-ene-3,17-dione	Androgen	
(次葉へ)		(次葉へ)		

新			旧			備 考
2 9 . 3 7	(前葉より)		2 9 . 3 7	(前葉より)		
	Androsterone	Androgen		Androsterone	Androgen	
	3 -hydroxy-5 -androst-17-one			3 -hydroxy-5 -androst-17-one		
	Betamethasone (INN)	Corticosteroid		Betamethasone (INN)	Corticosteroid	
	9 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxy-16 - methylpregna-1,4-diene-3,20-dione			9 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxy-16 - methylpregna-1,4-diene-3,20-dione		
	Bolasterone (INN)	Anabolic		Bolasterone (INN)	Anabolic	
	17 -hydroxy-7 ,17 -dimethylandrost-4-en-3-one			17 -hydroxy-7 ,17 -dimethylandrost-4-en-3-one		
	Chlormadinone (INN)	Progestogen		Chlormadinone (INN)	Progestogen	
	6-chloro-17 -hydroxypregna-4,6-diene-3,20-dione			6-chloro-17 -hydroxypregna-4,6-diene-3,20-dione		
	Chloroprednisone (INN)	Corticosteroid		Chloroprednisone (INN)	Corticosteroid	
	6 -chloro-17 ,21-dihydroxypregna-1,4-diene- 3,11,20-trione			6 -chloro-17 ,21-dihydroxypregna-1,4- diene-3,11,20-trione		
	Clocortolone (INN)	Corticosteroid		Clocortolone (INN)	Corticosteroid	
	9 -chloro-6 -fluoro-11 ,21-dihydroxy-16 - methylpregna-1,4-diene-3,20-dione			9 -chloro-6 -fluoro-11 ,21-dihydroxy-16 - methylpregna-1,4- diene-3,20-dione		
	Clostebol (INN)	Anabolic		Clostebol (INN)	Anabolic	
	4-chloro-17 -hydroxyandrost-4-en-3-one			4-chloro-17 -hydroxyandrost-4-en-3-one		
	Corticosterone	Corticosteroid		Corticosterone	Corticosteroid	
	11 ,21-dihydroxypregn-4-ene-3,20-dione			11 ,21-dihydroxypregn-4-ene-3,20-dione		
	Cortisol - see Hydrocortisone			Cortisol - see Hydrocortisone		
	Cortisone (INN)	Corticosteroid		Cortisone (INN)	Corticosteroid	
	17 ,21-dihydroxypregn-4-ene-3,11,20-trione			17 ,21-dihydroxypregn-4-ene-3,11,20-trione		
	11-Dehydrocorticosterone	Corticosteroid		11-Dehydrocorticosterone	Corticosteroid	
(次葉へ)			(次葉へ)			

新			旧			備 考
2 9 . 3 7	(前葉より)		2 9 . 3 7	(前葉より)		
	Deoxycorticosterone - see Desoxycortone			Deoxycorticosterone - see Desoxycortone		
	Desoxycortone (INN) 21-hydroxypregn-4-ene-3,20-dione	Corticosteroid		Desoxycortone (INN) 21-hydroxypregn-4-ene-3,20-dione	Corticosteroid	
	Dexamethasone (INN) 9 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxy-16 - methylpregna-1,4-diene-3,20-dione	Corticosteroid		Dexamethasone (INN) 9 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxy-16 - methylpregna-1,4-diene-3,20-dione	Corticosteroid	
	Dihydroandrosterone 5 -androstane-3 ,17 -diol	Androgen intermediate		Dihydroandrosterone 5 -androstane-3 ,17 -diol	Androgen	
	Dydrogesterone (INN) 9 ,10 -pregna-4,6-diene-3,20-dione	Progestogen		Dydrogesterone (INN) 9 ,10 -pregna-4,6-diene-3,20-dione	Progestogen	
	Equilenin 3-hydroxyoestra-1,3,5(10),6,8-pentaen-17-one	Oestrogen		Equilenin 3-hydroxyoestra-1,3,5(10),6,8-pentaen-17-one	Oestrogen	
	Equilin 3-hydroxyoestra-1,3,5(10),7-tetraen-17-one	Oestrogen		Equilin 3-hydroxyoestra-1,3,5(10),7-tetraen-17-one	Oestrogen	
	Estradiol (INN) oestra-1,3,5(10)-triene-3,17 -diol	Oestrogen		Estradiol (INN) oestra-1,3,5(10)-triene-3,17 -diol	Oestrogen	
	Estriol (INN) oestra-1,3,5(10)-triene-3,16 ,17 -triol	Oestrogen		Estriol (INN) oestra-1,3,5(10)-triene-3,16 ,17 -triol	Oestrogen	
	Estrone (INN) 3-hydroxyoestra-1,3,5(10)-trien-17-one	Oestrogen		Estrone (INN) 3-hydroxyoestra-1,3,5(10)-trien-17-one	Oestrogen	
	Ethinylestradiol (INN) 17 -ethynyloestra-1,3,5(10)-triene-3,17 -diol (次葉へ)	Oestrogen		Ethinylestradiol (INN) 17 -ethynyloestra-1,3,5(10)-triene-3,17 -diol (次葉へ)	Oestrogen	

新			旧			備 考
2 9 . 3 7	(次葉へ)		2 9 . 3 7	(次葉へ)		
	Ethisterone (INN)	Progestogen		Ethisterone (INN)	Progestogen	
	17 -ethynyl-17 -hydroxyandrost-4-en-3-one			17 -ethynyl-17 -hydroxyandrost-4-en-3-one		
	Ethylestrenol (INN)	Anabolic		Ethylestrenol (INN)	Anabolic	
	17 -ethyloestr-4-en-17 -ol			17 -ethyloestr-4-en-17 -ol		
	Etynodiol (INN)	Progestogen		Etynodiol (INN)	Progestogen	
	17 -ethynyloestr-4-ene-3 ,17 -diol			17 -ethynyloestr-4-ene-3 ,17 -diol		
	Fludrocortisone (INN)	Corticosteroid		Fludrocortisone (INN)	Corticosteroid	
	9 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxypregn-4-ene-3,20-dione			9 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxypregn-4-ene-3,20-dione		
	Flumetasone (INN)	Corticosteroid		Flumetasone (INN)	Corticosteroid	
	6 ,9 -difluoro-11 ,17 ,21-trihydroxy-16 -methylpregna-1,4-diene- 3,20-dione			6 ,9 -difluoro-11 ,17 ,21-trihydroxy-16 -methylpregna-1,4-diene- 3,20-dione		
	Fluocinolone (INNM)	Corticosteroid		Fluocinolone (INNM)	Corticosteroid	
	6 ,9 -difluoro-11 ,16 ,17 ,21-tetrahydroxy-pregna-1,4-diene-3,20-dione			6 ,9 -difluoro-11 ,16 ,17 ,21-tetrahydroxy-pregna-1,4-diene-3,20-dione		
	Fluocortolone (INN)	Corticosteroid		Fluocortolone (INN)	Corticosteroid	
	6 -fluoro-11 ,21-dihydroxy-16 -methylpregna-1,4-diene-3,20-dione			6 -fluoro-11 ,21-dihydroxy-16 -methylpregna-1,4-diene-3,20-dione		
	Fluorometholone (INN)	Corticosteroid		Fluorometholone (INN)	Corticosteroid	
	9 -fluoro-11 ,17 -dihydroxy-6 -methylpregna-1,4-diene-3,20-dione			9 -fluoro-11 ,17 -dihydroxy-6 -methylpregna-1,4-diene-3,20-dione		
	9 -Fluoroprednisolone	Corticosteroid		9 -Fluoroprednisolone	Corticosteroid	
	9 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxypregna-1,4-diene-3,20-dione			9 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxypregna-1,4-diene-3,20-dione		
	(次葉へ)			(次葉へ)		

新			旧			備 考
2 9 . 3 7	(前葉より)		2 9 . 3 7	(前葉より)		
	Fluoxymesterone (INN)	Androgen		Fluoxymesterone (INN)	Androgen	
	9 -fluoro-11 ,17-dihydroxy-17 -methylandro- 4-en-3-one			9 -fluoro-11 ,17 -dihydroxy-17 - methylandro-4-en-3-one		
	Fluprednidene (INN)	Corticosteroid		Fluprednidene (INN)	Corticosteroid	
	9 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxy-16- methylenepregna-1,4-diene- 3,20-dione			9 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxy-16- methylenepregna-1,4-diene- 3,20-dione		
	Fluprednisolone (INN)	Corticosteroid		Fluprednisolone (INN)	Corticosteroid	
	6 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxypregna-1,4- diene-3,20-dione			6 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxypregna-1,4- diene-3,20-dione		
	Flurandrenolone	Corticosteroid		Flurandrenolone	Corticosteroid	
	6 -fluoro-11 ,16 ,17 ,21-tetrahydroxypreg- 4-ene-3,20-dione			6 -fluoro-11 ,16 ,17 ,21- tetrahydroxypreg-4-ene-3,20-dione		
	Formocortal (INN)	Corticosteroid		Formocortal (INN)	Corticosteroid	
	3-(2-chloroethoxy)-9 -fluoro-6-formyl-11 ,21- dihydroxy-16 ,17-isopropylidenedioxypregna- 3,5-dien-20-one 21-acetate			3-(2-chloroethoxy)-9 -fluoro-6-formyl-11 ,21- dihydroxy-16 ,17-isopropylidenedioxypregna-3,5- dien-20-one 21-acetate		
	Gestonorone (INN)	Progestogen		Gestonorone (INN)	Progestogen	
	17 -ethyl-17 -hydroxyoestr-4-ene-3,20-dione			17 -ethyl-17 -hydroxyoestr-4-ene-3,20-dione		
	Hydrocortisone (INN)	Corticosteroid		Hydrocortisone (INN)	Corticosteroid	
	11 ,17 ,21-trihydroxypreg-4-ene-3,20-dione			11 ,17 ,21-trihydroxypreg-4-ene-3,20-dione		
	Hydroxyprogesterone (INN)	Progestogen		Hydroxyprogesterone (INN)	Progestogen	
	17 -hydroxypreg-4-ene-3,20-dione			17 -hydroxypreg-4-ene-3,20-dione		
	Lynestrenol (INN)	Progestogen		Lynestrenol (INN)	Progestogen	
	17 -ethynyloestr-4-en-17 -ol			17 -ethynyloestr-4-en-17 -ol		
(次葉へ)			(次葉へ)			

新			旧			備 考
2 9 . 3 7	(前葉より)		2 9 . 3 7	(前葉より)		
	Medroxyprogesterone (INN)	Progestogen		Medroxyprogesterone (INN)	Progestogen	
	17 -hydroxy-6 -methylpregn-4-ene-3,20-dione			17 -hydroxy-6 -methylpregn-4-ene-3,20-dione		
	Megestrol (INN)	Progestogen		Megestrol (INN)	Progestogen	
	17 -hydroxy-6-methylpregna-4,6-diene-3,20-dione			17 -hydroxy-6-methylpregna-4,6-diene-3,20-dione		
	Mestanolone (INN)	Anabolic		Mestanolone (INN)	Anabolic	
	17 -hydroxy-17 -methyl-5 -androstan-3-one			17 -hydroxy-17 -methyl-5 -androstan-3-one		
	Mesterolone (INN)	Androgen		Mesterolone (INN)	Androgen	
	17 -hydroxy-1 -methyl-5 -androstan-3-one			17 -hydroxy-1 -methyl-5 -androstan-3-one		
	Mestranol (INN)	Oestrogen		Mestranol (INN)	Oestrogen	
	17 -ethynyl-3-methoxyoestra-1,3,5(10)-trien-17 -ol			17 -ethynyl-3-methoxyoestra-1,3,5(10)-trien-17 -ol		
	Metandienone (INN)	Anabolic		Metandienone (INN)	Anabolic	
	17 -hydroxy-17 -methylandrosta-1,4-dien-3-one			17 -hydroxy-17 -methylandrosta-1,4-dien-3-one		
	Metenolone (INN)	Anabolic		Metenolone (INN)	Anabolic	
	17 -hydroxy-1-methyl-5 -androst-1-en-3-one			17 -hydroxy-1-methyl-5 -androst-1-en-3-one		
	Methandriol (INN)	Anabolic		Methandriol (INN)	Anabolic	
	17 -methylandrosta-5-ene-3 ,17 -diol			17 -methylandrosta-5-ene-3 ,17 -diol		
	2-Methylhydrocortisone	Corticosteroid		2-Methylhydrocortisone	Corticosteroid	
	11 ,17 ,21-trihydroxy-2 -methylpregn-4-ene-3,20-dione			11 -17 ,21-trihydroxy-2 -methylpregn-4-ene-3,20-dione		
	6 -Methylhydrocortisone	Corticosteroid		6 -Methylhydrocortisone	Corticosteroid	
	11 ,17 ,21-trihydroxy-6 -methylpregn-4-ene-3,20-dione			11 ,17 ,21-trihydroxy-6 -methylpregn-4-ene-3,20-dione		
(次葉へ)			(次葉へ)			

新			旧			備 考
2 9 . 3 7	(前葉より)		2 9 . 3 7	(前葉より)		
	Methylnortestosterone	Progestogen		Methylnortestosterone	Progestogen	
	17 -hydroxy-17 -methyloestr-4-en-3-one			17 -hydroxy-17 -methyloestr-4-en-3-one		
	17 -Methyloestradiol	Oestrogen		17 -Methyloestradiol	Oestrogen	
	17 -methyloestra-1,3,5(10)-triene-3,17 -diol			17 -methyloestra-1,3,5(10)-triene-3,17 -diol		
	Methylprednisolone (INN)	Corticosteroid		Methylprednisolone (INN)	Corticosteroid	
	11 ,17 ,21-trihydroxy-6 -methylpregna-1,4-diene-3,20-dione			11 -17 ,21-trihydroxy-6 -methylpregna-1,4-diene-3,20-dione		
	Methyltestosterone (INN)	Androgen		Methyltestosterone (INN)	Androgen	
	17 -hydroxy-17 -methylandrost-4-en-3-one			17 -hydroxy-17 -methylandrost-4-en-3-one		
	Nandrolone (INN)	Anabolic		Nandrolone (INN)	Anabolic	
	17 -hydroxyoestr-4-en-3-one			17 -hydroxyoestr-4-en-3-one		
	Norethandrolone (INN)	Anabolic		Norethandrolone (INN)	Anabolic	
	17 -ethyl-17 -hydroxyoestr-4-en-3-one			17 -ethyl-17 -hydroxyoestr-4-en-3-one		
	Norethisterone (INN)	Progestogen		Norethisterone (INN)	Progestogen	
	17 -ethynyl-17 -hydroxyoestr-4-en-3-one			17 -ethynyl-17 -hydroxyoestr-4-en-3-one		
	Noretynodrel (INN)	Progestogen		Noretynodrel (INN)	Progestogen	
	17 -ethynyl-17 -hydroxyoestr-5(10)-en-3-one			17 -ethynyl-17 -hydroxyoestr-5(10)-en-3-one		
	Norgestrel (INN)	Progestogen		Norgestrel (INN)	Progestogen	
	13 -ethyl-17 -ethynyl-17 -hydroxygon-4-en-3-one			13 -ethyl-17 -ethynyl-17 -hydroxygon-4-en-3-one		
	Normethandrone - see Methylnortestosterone			Normethandrone - see Methylnortestosterone		
	Nortestosterone - see Nandrolone			Nortestosterone - see Nandrolone		
(次葉へ)			(次葉へ)			

新			旧			備 考
2 9 . 3 7	(前葉より)		2 9 . 3 7	(前葉より)		
	Oxabolone (INN)	Anabolic		Oxabolone (INN)	Anabolic	
	4,17 -dihydroxyoestr-4-en-3-one			4,17 -dihydroxyoestr-4-en-3-on		
	Oxymesterone (INN)	Anabolic		Oxymesterone (INN)	Anabolic	
	4,17 -dihydroxy-17 -methylandro-4-en-3-one			4,17 -dihydroxy-17 -methylandro-4-en-3-one		
	Oxymetholone (INN)	Anabolic		Oxymetholone (INN)	Anabolic	
	17 -hydroxy-2-hydroxymethylene-17 -methyl-5 -androstan-3-one			17 -hydroxy-2-hydroxymethylene-17 -methyl-5 -androstan-3-one		
	Paramethasone (INN)	Corticosteroid		Paramethasone (INN)	Corticosteroid	
	6 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxy-16 -methylpregna-1,4-diene-3,20-dione			6 -fluoro-11 ,17 ,21-trihydroxy-16 -methylpregna-1,4-diene-3,20-dione		
	Prasterone (INN)	Androgen		Prasterone (INN)	Androgen	
	3 -hydroxyandro-5-en-17-one			3 -hydroxyandro-5-en-17-one		
	Prednisolone (INN)	Corticosteroid		Prednisolone (INN)	Corticosteroid	
	11 ,17 ,21-trihydroxypregna-1,4-diene-3,20-dione			11 ,17 ,21-trihydroxypregna-1,4-diene-3,20-dione		
	Prednisone (INN)	Corticosteroid		Prednisone (INN)	Corticosteroid	
	17 ,21-dihydroxypregna-1,4-diene-3,11,20-trione			17 ,21-dihydroxypregna-1,4-diene-3,11,20-trione		
	Prednylidene (INN)	Corticosteroid		Prednylidene (INN)	Corticosteroid	
	11 ,17 ,21-trihydroxy-16-methylenepregna-1,4-diene-3,20-dione			11 ,17 ,21-trihydroxy-16-methylenepregna-1,4-diene-3,20-dione		
	Pregnenolone (INN)	Corticosteroid		Pregnenolone (INN)	Corticosteroid	
	3 -hydroxypregn-5-en-20-one			3 -hydroxypregn-5-en-20-one		
	Progesterone (INN)	Progestogen		Progesterone (INN)	Progestogen	
	pregn-4-ene-3,20-dione			pregn-4-ene-3,20-dione		
(次葉へ)			(次葉へ)			

新		旧		備 考
2 9 . 3 7	(前葉より)	2 9 . 3 7	(前葉より)	
	Stanolone - see Androstanolone		Stanolone - see Androstanolone	
	Testosterone (INN) 17 -hydroxyandrost-4-en-3-one		Testosterone (INN) 17 -hydroxyandrost-4-en-3-one	
	Tiomesterone (INN) 1 ,7 -di(acetylthio)-17 -hydroxy-17 - methylandrost-4-en-3-one		Tiomesterone (INN) 1 ,7 -di(acetylthio)-17 -hydroxy-17 - methylandrost-4-en-3-one	
	Triamcinolone (INN) 9 -fluoro-11 ,16 ,17 ,21- tetrahydroxypregna-1,4-diene-3,20-dione (次葉へ)		Triamcinolone (INN) 9 -fluoro-11 ,16 ,17 ,21- tetrahydroxypregna-1,4-diene-3,20-dione (次葉へ)	
	Androgen		Androgen	
	Anabolic		Anabolic	
	Corticosteroid		Corticosteroid	

新	旧	備 考
<p>(前葉より)</p> <p>29.37 (C) カテコールアミンホルモン並びにその誘導体及び構造類似物 このグループには、副腎髄質に存在するホルモンを含む。</p> <p>(1) エピネフリン (INN) (アドレナリン、(-)-3,4-ジヒドロキシ- アルファ-[(メチルアミノ)メチル]ベンジルアルコール)及びラセピネフ リン (INN) (±)-3,4-ジヒドロキシ-アルファ-[(メチルアミ ノ)メチル]ベンジルアルコール)：両者の構造は、化学名1-(3,4-ジ ヒドロキシフェニル)-2-メチルアミノエタノールに相当する。エピネフリ ンは、淡かつ色又はほとんど白色の結晶で、光の影響を受けやすく、水又は有 機溶媒にわずかに溶ける。馬の副腎から得ることもできるが、ほとんど合成に よつて得られる。血圧上昇ホルモンの一種であり、交感神経系を刺激し、血球 数及び血糖値を上昇させ、強い血管収縮作用を有する。</p> <p>(2) ノルエピネフリン (INN) (レバルテレンール、ノルアドレナリン、 (-)-2-アミノ-1-(3,4-ジヒドロキシフェニル)エタノール)： 白色結晶で、水に可溶であり、その生理活性は、アドレナリンとエフェドリン の作用の中間的である。</p> <p>(D) アミノ酸の誘導体</p> <p>(1) レボチロキシン (INN)及びDL-チロキシン(3-[4-(4-ヒド ロキシ-3,5-ジヨードフェノキシ)-3,5-ジヨードフェニル]アラニ ン、3,5,3',5'-テトラヨードチロニン)：チロキシンは甲状腺から の抽出又は合成によつて得られる。芳香族アミノ酸の一種であり、白色又は黄 色の結晶で、水及び通常の溶媒に不溶である。基礎代謝率及び酸素消費量を増 加し、交感神経系に作用し、たんぱく質及び脂肪の作用を制御し、生体のよう 素欠乏を補う。甲状腺腫及びクレチン症の治療に使用する。L体の異性体が活 性である。ナトリウム塩は、白色結晶で、水にわずかに溶け、同様の作用を有 する。</p> <p>(2) リオチロニン (INN)及びラチロニン (INN) (DL-3,5,3'- トリヨードチロニン)(3-[4-(4-ヒドロキシ-3-ヨードフェノキ シ)-3,5-ジヨードフェニル]アラニン)：トリヨードチロニンは、甲状 腺から抽出され、その生理活性はチロキシンよりも強い。</p> <p>(次葉へ)</p>	<p>(前葉より)</p> <p>29.37</p> <p>(次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p style="text-align: center;">(前葉より)</p> <p>29.37 (E) <u>プロスタグランジン、トロンボキサン及びロイコトリエン並びにこれらの誘導体及び構造類似物</u> <u>これらの物質はアラキドン酸の誘導体である。</u> (1) <u>プロスタグランジン</u> アラキドン酸の誘導体のうち最も重要なもので、少量でホルモン様の働きをする内因性物質であり、プロスタノ酸の基本構造を有する。<u>血流、腎機能及び内分泌の調節に関与し(例えば、黄体のプロゲステロン生成を減少させることによる。)、平滑筋の収縮及び血管の拡張を刺激し、血小板の凝集を抑制し、胃液分泌を調節する。ここには、次のプロスタグランジン並びにその誘導体及び構造類似物を含む。</u> (a) <u>アルプロスタジル(INN)(プロスタグランジンE₁)</u>：生物抽出物から結晶化された主要なプロスタグランジンである。<u>血管拡張剤として用いられ、腎皮質からのエリスロポエチンの放出を促し、血小板の凝集を阻害する。</u> (b) <u>アルファプロストール(INN)</u>：合成によつて得られたプロスタグランジンの構造類似物で、雌馬の不妊治療に使用される。 (c) <u>チルスプロスト(INN)</u>：プロスタグランジンの構造類似物で、酸素原子及び炭素原子1つが、窒素原子及び硫黄原子で置換され、環が閉じている。 このグループには、<u>プロスタレン(INN)、ジノプロスト(INN)</u>等のようなその他の合成によつて得られたものを含む。これらは、天然の物質の基本的構造を有し、同様の生理活性を有する。 (2) <u>トロンボキサン及びロイコトリエン</u> プロスタグランジンと同様に、細胞中でアラキドン酸より合成される。その機能はプロスタグランジンに匹敵し、構造も近似であるが、<u>プロスタノ酸の基本構造は有していない。トロンボキサンは、プロスタグランジンから生成され、血小板の凝集及び動脈収縮を起こし、ポリ不飽和脂肪酸の活性の重要な調節剤である。ロイコトリエンは、白血球(ロイコサイト)を起源とし、トリエンの形に縮合していることから名づけられた。これは、強力な気管支収縮剤であり、過敏症反応において重要な役割を果たす。</u> (a) <u>トロンボキサンB₂</u>：血管収縮剤、気管支収縮剤及び血小板凝集誘発剤である。 (b) <u>ロイコトリエンC₄</u>：肺の気道における効果は、ヒスタミン又はプロスタグランジンの百倍から千倍の強さである。</p> <p style="text-align: center;">(次葉へ)</p>	<p style="text-align: center;">(前葉より)</p> <p>29.37</p> <p style="text-align: center;">(次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>29.37 (前葉より) (F) <u>その他のホルモン</u> ここに属するものは、<u>上述のホルモンとは異なる構造を持つホルモンである。例えば、松果体に存在するメラトニンは、インドールの誘導体とみなされる。</u></p> <p><u>除外</u> この項には、次の物品を含まない。</p> <p>(1) <u>ホルモンに類似した構造を有するが、ホルモン作用を有しない物品</u> (a) <u>アンドロスト - 5 - エン - 3 アルファ, 17 アルファ - ジオール, アンドロスト - 5 - エン - 3 アルファ, 17 ベータ - ジオール (29.06) 及びそれらの酢酸ジエステル (29.15)</u> (b) <u>アドレナロン (INN) (3', 4' - ジヒドロキシ - 2 - メチルアミノアセトフェノン) (29.22)</u> (c) <u>29.22 項に属する次の物品</u> () <u>2 - アミノ - 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) ブタン - 1 - オール</u> () <u>コルバドリン (INN) (2 - アミノ - 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) プロパン - 1 - オール, 3, 4 - ジヒドロキシノルエフェドリン, ホモアルテレノール)</u> () <u>デオキシエピネフリン (デオキシアドレナリン, 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) - 2 - メチルアミノエタン, エピニン)</u> () <u>3', 4' - ジヒドロキシ - 2 - エチルアミノアセトフェノン (4 - エチルアミノアセチルカテコール)</u> () <u>1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) - 2 - メチルアミノプロパン - 1 - オール (3, 4 - ジヒドロキシエフェドリン)</u> () <u>(±) - N - メチルエピネフリン ((±) - 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) - 2 - ジメチルアミノエタノール, メタドレン, (±) - N - メチルアドレナリン)</u> (2) <u>ホルモン様作用を有するが、ホルモン類似構造を有しない物品</u> (a) <u>ジエネストール (INN) (3, 4 - ビス (p - ヒドロキシフェニル) ヘキサ - 2, 4 - ジエン) (29.07)</u> (b) <u>ヘキセストール (INN) (3, 4 - ビス (p - ヒドロキシフェニル) ヘキサン) (29.07)</u> (c) <u>ジエチルスチルベストロール (INN) (トランス - 3, 4 - ビス (p - ヒドロキシフェニル) ヘキセ - 3 - エン) (29.07) 並びにそのジメチルエーテル (29.09), ジプロピオン酸エステル (29.15) 及びフラン酸エステル (29.32)</u></p> <p>(次葉へ)</p>	<p>29.37 (前葉より)</p> <p><u>除外</u> この項には、次の物品を含まない。</p> <p>(1) <u>ホルモン中間体</u> (a) <u>アンドロスト - 5 - エン - 3 アルファ - 17 アルファ - ジオール, アンドロスト - 5 - エン - 3 アルファ - 17 ベータ - ジオール (29.06) 及びそれらの酢酸エステル (29.15)</u> (b) <u>コルトドクソン (INN) (17 アルファ, 21 - ジヒドロキシプレグン - 4 - エン - 320 - ジオン, Reichstein's substances) (29.14) 及びその酢酸のエステル (29.15)</u> (c) <u>アドレナロン (INN) (3', 4' - ジヒドロキシ - 2 - メチルアミノアセトフェノン) (29.22)</u> (2) <u>合成非ステロイド系ホルモン代用物</u> (a) <u>ジエネストール (INN) (3, 4 - ビス (p - ヒドロキシフェニル) ヘキサ - 2, 4 - ジエン) (29.07)</u> (b) <u>ヘキセストール (INN) (3, 4 - ビス (p - ヒドロキシフェニル) ヘキサン) (29.07)</u> (c) <u>ジエチルスチルベストロール (INN) (トランス - 3, 4 - ビス (p - ヒドロキシフェニル) - ヘキセ - 3 - エン) (29.07) 並びにそのジメチルエーテル (29.09), ジプロピオン酸エステル (29.15) 及びフラン酸エステル (29.32)</u> (d) <u>29.22 項に属する次の物品</u> () <u>2 - アミノ - 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) ブタン - 1 - オール</u> () <u>コルバドリン (INN) (2 - アミノ - 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) - プロパン - 1 - オール, 3, 4 - ジヒドロキシノルエフェドリン, ホモアルテレノール)</u> () <u>デオキシエピネフリン (デオキシアドレナリン, 1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) - 2 - メチルアミノエタン, エピニン)</u> () <u>3', 4' - ジヒドロキシ - 2 - エチルアミノアセトフェノン (4 - エチルアミノアセチルカテコール)</u> () <u>1 - (3, 4 - ジヒドロキシフェニル) - 2 - メチルアミノプロパン - 1 - オール (3, 4 - ジヒドロキシエフェドリン, ネドリン)</u></p> <p>(次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>(前葉より)</p> <p>29.37</p> <p>(d) <u>クロミフェン (INN) (抗エストロゲン) (29.22)</u></p> <p>(e) <u>タモキシフェン (INN) (抗エストロゲン) (29.22)</u></p> <p>(f) <u>フルタミド (INN) (抗アンドロゲン) (29.24)</u></p> <p>(3) <u>ホルモン様作用を有する天然の物質であるが、人又は動物の身体で分泌されるものでないもの</u></p> <p>(a) <u>ジラレノン：たんぱく質同化剤 (29.32)</u></p> <p>(b) <u>アスペリリン：コレシストキニンの拮抗剤 (29.33)</u></p> <p>(4) <u>ホルモンとみなされる場合もあるが、真のホルモン活性を有しない物品</u></p> <p>(a) <u>シスチン、システイン (INN) 及びこれらの塩酸塩 (29.30)</u></p> <p>(b) <u>メチオニン及びそのカルシウム塩 (29.30)</u></p> <p>(c) <u>セロトニン (5 - ヒドロキシトリプタミン、5 - ヒドロキシ - 3 - (ベータ - アミノエチル) インドール) (29.33)</u></p> <p>(d) <u>ヘパリン (30.01)</u></p> <p>(e) <u>変性免疫産品 (30.02)</u></p> <p>(5) <u>植物生長調整剤 (天然のもの及び合成のもの。例えば、植物ホルモン)</u></p> <p>(A) <u>混合されておらず、かつ、小売用でない場合には、その化学組成により所属を決定する。</u></p> <p>(a) <u>アルファ - ナフチル酢酸及びそのナトリウム塩 (29.16)</u></p> <p>(b) <u>2, 4 - ジクロロフェノキシ酢酸 (2, 4 - D)、2, 4, 5 - トリクロロフェノキシ酢酸 (2, 4, 5 - T) 及び 4 - クロロ - 2 - メチル - フェノキシ酢酸 (MCPA) (29.18)</u></p> <p>(c) <u>ベータ - インドリル酢酸及びそのナトリウム塩 (29.33)</u></p> <p>(B) <u>小売用の形状若しくは包装にしたもの又は調製したもの若しくは製品にしたもの (38.08)</u></p> <p>(6) <u>30.03 項又は30.04 項の医薬品：特に、「徐放性インスリン」(インスリン亜鉛、インスリンカリウム亜鉛、インスリン グロビン、インスリン亜鉛グロビン、インスリンヒストン)</u></p>	<p>(前葉より)</p> <p>29.37</p> <p>() (±) - N - メチルエピネフィリン ((±) - 1 - (3、4 - ジヒドロキシフェニル) - 2 - ジメチルアミノエタノール、メタドレン、 (±) - N - メチルアドレナリン)</p> <p>(3) <u>しばしばホルモンとみなされることもあるが、真のホルモン活性を有しない物品</u></p> <p>(a) <u>シスチン、システイン及びこれらの塩酸基 (29.30)</u></p> <p>(b) <u>メチオニン及びそのカルシウム塩 (29.30)</u></p> <p>(c) <u>セロトニン (5 - ヒドロキシトリプタミン) (29.33)</u></p> <p>(d) <u>ヘパリン (30.01)</u></p> <p>(4) <u>植物生長調整剤 (天然のもの及び合成のもの。例えば、植物ホルモン)</u></p> <p>(A) <u>混合されておらず、かつ、小売用でない場合には、その化学組成により所属を決定する。</u></p> <p>(a) <u>アルファ - ナフチル酢酸及びそのナトリウム塩 (29.16)</u></p> <p>(b) <u>2、4 - ジクロロフェノキシ酢酸 (2、4 - D)、2、4、5 - トリクロロフェノキシ酢酸 (2、4、5 - T) 及び 4 - クロロ - 2 - メチルフェノキシ酢酸 (MCPA) (29.18)</u></p> <p>(c) <u>ベータ - インドリル酢酸及びそのナトリウム塩 (29.33)</u></p> <p>(B) <u>小売用の形状若しくは包装にしたもの又は調整したもの並びに製品にしたもの (38.08)</u></p> <p>(5) <u>30.03 項又は30.04 項の医薬品：とくに“徐放性インスリン”(インスリン亜鉛、インスリンカリウム亜鉛、インスリン グロビン、インスリン亜鉛グロビン、インスリンヒストン)</u></p>	